

平成23年度

加須市一般会計及び特別会計  
決算審査意見書

加須市監査委員



加 監 発 第 3 7 号

平成 2 4 年 8 月 2 2 日

加須市長 大橋 良一 様

加須市監査委員 磯 勝 次

加須市監査委員 内 田 敏 雄

平成 2 3 年度加須市一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査の  
結果について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項及び同法第 2 4 1 条第 5 項の規定により、審査  
に付された平成 2 3 年度加須市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金  
運用状況等を審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

## 目 次

### 平成23年度加須市一般会計及び特別会計等歳入歳出決算審査意見書

1	審査の対象	1
2	審査の期日	1
3	審査の方法	1
4	審査の意見	2
5	主要な財政指標の分析	4
6	決算の状況	5
	(1) 各会計の総括	5
	(2) 加須市一般会計	8
	(3) 加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計	24
	(4) 加須市国民健康保険事業特別会計	26
	(5) 加須市国民健康保険直営診療所特別会計	30
	(6) 加須市後期高齢者医療特別会計	32
	(7) 加須市介護保険事業特別会計	34
	(8) 加須市農業集落排水事業特別会計	36
	(9) 加須都市計画事業不動岡土地地区画整理事業特別会計	38
	(10) 加須都市計画事業三俣第二土地地区画整理事業特別会計	40
	(11) 幸手都市計画事業野中土地地区画整理事業特別会計	42
	(12) 幸手都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地地区画整理事業特別会計	44
	(13) 河野博士育英事業特別会計	46
	(14) 実質収支に関する調書	48
	(15) 財産に関する調書	48
	(16) 基金の運用状況報告書	48

## 平成23年度加須市一般会計及び特別会計等歳入歳出決算審査意見書

### 1 審査の対象

- 平成23年度加須市一般会計歳入歳出決算
- 平成23年度加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度加須市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度加須市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度加須市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度加須都市計画事業不動岡土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度加須都市計画事業三俣第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度幸手都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度幸手都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成23年度河野博士育英事業特別会計歳入歳出決算
- 実質収支・財産に関する調書・基金の運用状況報告書

### 2 審査の期日

平成24年6月12日から平成24年8月10日まで

### 3 審査の方法

平成23年度各会計歳入歳出決算書及び関係書類に基づき、照合審査を行うとともに、出納検査等を参考にして関係者の説明を聴取し実施した。

審査にあたって、次のことについて特に留意した。

歳入

- 収入成績（収入未済の状況）
- 予算現額や調定額に比し、著しく増減のあったものについてはその理由
- 収入処理の適否

歳出

- 違法・不当な支出はなかったか
- 予算がその目的に合致するよう執行されたか
- 執行に怠慢がなく、かつ、効果的であったか
- 計数は正確で、かつ、関係帳簿と一致しているか

#### 4 審査の意見

平成23年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算は、審査に付された決算書及び同附属書類並びに関係諸帳簿、資料等を照合審査した結果、計数はいずれも正確であることを確認した。

また、予算の執行等について、おおむね適正に処理されているものと認められた。

なお、留意事項等は、次のとおりである。

##### (1) 行財政全般について

「加須市総合振興計画」の実現に向けて尽力されるとともに、自主財源の確保や限られた財源の重点配分、更には徹底した無駄の排除など経費支出の効率化に努め、機動的・弾力的な財政運営を望むものである。

本年度は、市債管理基金や公共施設等再整備基金などに積立を行うなど、将来の財政負担の軽減に努めている。

引き続き、自立した自治体経営を図るために、職員の政策立案能力の向上や組織の見直しなど、地方自治法の期待する「最少経費による最大の効果」が得られるよう、簡素で効率的な行財政運営を図りたい。

## (2) 収入未収金の確保対策について

一般会計の歳入面での収入未済額が、市税で 783,158,263 円、分担金及び負担金で 31,590,530 円、使用料及び手数料で 6,265,973 円、諸収入で 51,137,570 円、合計 872,152,336 円となっている。特別会計の収入未済額は、住宅新築資金等貸付事業特別会計の 63,735,711 円、国民健康保険事業特別会計の 813,322,882 円、後期高齢者医療特別会計の 3,471,080 円、介護保険事業特別会計の 25,566,190 円、農業集落排水事業特別会計の 4,742,530 円であり一般会計と特別会計を合わせると収入未済額は 1,782,990,729 円に達する。

また、本年度は一般会計諸収入の収入未済額が増加している。今後、特に給食納付金等について債権管理を徹底し、未収金の解消に努められたい。

さらに、市税や国民健康保険税並びに使用料や貸付金などの徴収率の向上と収入未済額の縮減、債権管理の適正化を図るなど、引き続き歳入確保に向けて、なお一層の努力を望むものである。

## (3) 経営改革等への取組みについて

厳しい行財政環境にあっては、「加須やぐるまマネジメントサイクル」(PDCA)により着実に事務事業を推進し、その実施成果を的確に評価をし、その評価でとらえられた改革・改善点を今後の事業に反映していくよう努められたい。特に、マネジメントサイクルの「P」(プラン)段階の目標を的確に掲げ、課題達成に結びつけるよう政策形成の質を高めるよう努められたい。

## (4) 安全・安心なまちづくりについて

安全・安心なまちづくりに向けて、昨年3月11日に発生した「東日本大震災」の災害実態を踏まえた新たな防災対策が求められてきている。建物被害、地盤沈下、液状化に伴う災害、帰宅困難者の発生、原発事故に伴う放射能災害等について、地域防災計画に基づき、災害の種別に対応した事前の予防策と事後の復旧や被災者救済など実行性のある対応策と災害に強いまちづくりに向

けた基盤整備を図られたい。

#### (5) マネジメントリスクへの対応について

最近、行政を取り巻く諸課題を、自然災害等の発生といった危機管理事象だけでなく、行政運営・経営上の諸問題を予めリスクとして洗い出し、その内容を影響度と頻度によって分析し、その重要度を評価・特定した上で、対応策を講じることによって、問題の発生を未然に防止することが求められている。

今後、様々なリスクに対しては、市長の統制の下、庁内各部門がかかわるリスクについて、総合的にリスクマネジメントを所掌する部署を明確にし、庁内最適のリスク管理のしくみを整備し、それに基づく活動が展開されることを望むものである。

以上それぞれ総括的な意見を申し上げたが、健全な財政運営を基調に中長期的展望の下、的確に社会情勢を見極めるとともに、福祉の充実や地域の特性を活かした均衡ある発展を図るなど、市民満足度の高い行政経営を図られたい。

### 5 主要な財政指標の分析

	平成23年度	平成22年度
経常収支比率	82.8%	79.1%
財政力指数	0.738	0.746
実質公債費比率	9.0%	9.8%
義務的経費比率	50.3%	51.5%

\* 普通会計ベースの数値

#### ア 経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する指標の一つとして用いられている。これは、経常的な経費に、市税、地方交付税を中心とした一般財源がどの程度充当されているかを判断する指標として用いられるもので、この数値が高いほど財政が硬直化していることになり、75%程度が妥当とされている。

本年度は 82.8%で、前年度に比べて 3.7 ポイント上昇している。

#### イ 財政力指数

財政力の強弱を示す指標である。普通交付税の算定に用いられる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去 3 か年の平均値。

この数値が、「1」を超えるほど財政力がある。

本年度は 0.738 で、前年度に比べて 0.008 ポイント低下している。

#### ウ 実質公債費比率

従来の起債制限比率にかわるもの。健全化の判断比率である。

実質公債費比率が 18%以上になると地方債許可団体に移行することとなり、25%以上になると早期健全化団体となる。

本年度は 9.0%で、前年度に比べて 0.8 ポイント低下した。

#### エ 義務的経費比率

歳出のうち、極めて硬直性の強い経費として、人件費、扶助費、公債費の三つを義務的経費という。この義務的経費比率が大きいほど財政の硬直化が進んでいるといわれている。

本年度は 50.3%で、前年度に比べて 1.2 ポイント低下している。

## 6 決算の状況

### (1) 各会計の総括

平成 23 年度一般会計及び特別会計の歳入決算額は、総計で 60,879,252,446 円（一般会計 40,802,752,029 円、特別会計 20,076,500,417 円）で、前年度に比べ 1,893,429,525 円（3.2%）増加し、歳出決算額は 57,091,606,142 円（一般会計 38,217,194,270 円、特別会計 18,874,411,872 円）で、前年度に比べ 2,061,002,076 円（3.7%）増加である。

詳細は、「表 1（P 6、7）」のとおりである。



表 1 平成23年度一般会計・特別会計決算総括表

区 分	一般会計	特 別					
		住宅資金	国民健康保険	国保診療所	後期高齢者	介護保険	
歳入 A	40,802,752,029	7,472,351	12,330,130,661	140,539,620	803,297,311	5,664,393,758	
歳出 B	38,217,194,270	2,614,723	11,638,781,666	107,974,761	787,279,723	5,430,286,731	
差引残額 A-B	2,585,557,759	4,857,628	691,348,995	32,564,859	16,017,588	234,107,027	
繰越財源	239,825,560	0	0	0	0	12,831,000	
実質収支	23年度 C	2,345,732,199	4,857,628	691,348,995	32,564,859	16,017,588	221,276,027
	22年度 D	2,410,142,978	3,930,731	518,296,091	24,529,779	19,998,290	247,223,867
単年度収支 (C-D)E	△ 64,410,779	926,897	173,052,904	8,035,080	△ 3,980,702	△ 25,947,840	
積立金増減 (財政調整基金) F	149,718,952	0	0	0	0	0	
繰上償還金 G	0	0	0	0	0	0	
実質単年度収支 E+F+G	85,308,173	926,897	173,052,904	8,035,080	△ 3,980,702	△ 25,947,840	

(単位:円)

会 計						合計
農業集落 排水	不動岡 区画	三俣第二 区画	野中区画	栗橋駅西 区画	河野博士	
747,970,054	37,357,777	105,981,627	145,818,379	88,198,806	5,340,073	60,879,252,446
604,250,126	29,767,352	43,216,397	142,228,985	82,836,510	5,174,898	57,091,606,142
143,719,928	7,590,425	62,765,230	3,589,394	5,362,296	165,175	3,787,646,304
0	0	4,138,485	0	0	0	256,795,045
143,719,928	7,590,425	58,626,745	3,589,394	5,362,296	165,175	3,530,851,259
122,582,030	6,430,172	85,840,404	4,109,842	7,405,158	164,171	3,450,653,513
21,137,898	1,160,253	△ 27,213,659	△ 520,448	△ 2,042,862	1,004	80,197,746
0	0	0	0	0	0	149,718,952
0	0	0	0	0	0	0
21,137,898	1,160,253	△ 27,213,659	△ 520,448	△ 2,042,862	1,004	229,916,698

## (2) 一般会計

(単位 円)

年 度 区 分	平成23年度	平成22年度	前年度比
			23/22
予算現額	40,521,117,738	39,217,847,029	103.3%
収入済額	40,802,752,029	39,880,699,472	102.3
支出済額	38,217,194,270	37,074,036,883	103.1
差引残額	2,585,557,759	2,806,662,589	92.1
翌年度へ繰り越すべき財源	239,825,560	396,519,611	60.5
実質収支額	2,345,732,199	2,410,142,978	97.3

歳入歳出決算額は

歳入 40,802,752,029 円 (予算現額に対して 100.7%)

歳出 38,217,194,270 円 ( " " 94.3%)

で歳入歳出差引額は 2,585,557,759 円である。翌年度へ繰り越すべき財源 239,825,560 円を差し引いた 2,345,732,199 円が実質収支額である。

単年度収支では、前年度実質収支額が 2,410,142,978 円であったので 64,410,779 円の赤字であるが、この額に財政調整基金積立額 149,718,952 円を加えた実質単年度収支は 85,308,173 円の黒字となった。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当 初 予 算 額 ( A )	36,630,000,000	36,070,000,000	101.6%
	補 正 予 算 等 ( B )	3,891,117,738	3,147,847,029	123.6
	増 減 率 ( B / A )	10.6%	8.7%	-
	予 算 現 額	40,521,117,738	39,217,847,029	103.3
調 定 額		41,881,091,014	41,059,057,335	102.0
収 入 済 額		40,802,752,029	39,880,699,472	102.3
収 入 率	対 予 算 現 額	100.7%	101.7%	-
	対 調 定 額	97.4%	97.1%	-
不 納 欠 損 額		206,186,649	162,116,831	127.2
収 入 未 済 額		872,152,336	1,016,241,032	85.8

本年度の収入済額は 40,802,752,029 円で、予算現額 40,521,117,738 円に対して 100.7%の収入率となり、前年度 (101.7%) に比して 1.0 ポイント下回った。また、調定額 41,881,091,014 円に対して 97.4%の収入率で、前年度 (97.1%) に比して 0.3 ポイント上回った。

なお、収入未済額は 872,152,336 円で、前年度に比し 144,088,696 円 (14.2%) の減少である。

一般会計の歳入総計では、前年度より 922,052,557 円 (2.3%) の増加を示し、財源比較をみると「表 2 ( P 1 0、1 1 )」のとおりである。この中で、自主財源は、市税、寄付金、繰入金が減少し、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰越金、諸収入が増加した。また、依存財源では、地方譲与税、利子割交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、県支出金等が減少し、配当割交付金、地方消費税交付金、地方交付税、国庫支出金等が増加した。

表 2 平成23年度一般会計款別歳入決算財源比較表

区 分		決 算 額		構成比率%		前年度 比率%
		23	22	23	22	23/22
自 主 財 源	市 税	15,414,852,818	15,562,703,424	37.8	39.0	99.0
	分 担 金 及 び 負 担 金	457,489,966	450,935,597	1.1	1.1	101.5
	使 用 料 及 び 手 数 料	488,063,038	464,325,618	1.2	1.2	105.1
	財 産 収 入	110,991,893	53,441,720	0.3	0.1	207.7
	寄 附 金	7,096,024	32,756,079	0.0	0.1	21.7
	繰 入 金	443,495,891	529,842,641	1.1	1.3	83.7
	繰 越 金	2,914,708,320	2,291,533,187	7.1	5.7	127.2
	諸 収 入	1,740,126,191	1,194,897,056	4.3	3.0	145.6
	小 計	21,576,824,141	20,580,435,322	52.9	51.6	104.8
	依 存 財 源	地 方 譲 与 税	577,514,714	586,528,419	1.4	1.5
利 子 割 交 付 金		32,719,000	41,664,000	0.1	0.1	78.5
配 当 割 交 付 金		25,524,000	22,401,000	0.1	0.1	113.9
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		6,317,000	7,543,000	0.0	0.0	83.7
地 方 消 費 税 交 付 金		997,984,000	996,630,000	2.4	2.5	100.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金		132,193,000	225,766,000	0.3	0.6	58.6
地 方 特 例 交 付 金		214,651,000	229,959,000	0.5	0.6	93.3
地 方 交 付 税		7,338,782,000	7,061,446,000	18.0	17.7	103.9
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		25,936,000	26,466,000	0.1	0.1	98.0
国 庫 支 出 金		4,247,323,620	4,212,411,819	10.4	10.6	100.8
源	県 支 出 金	2,371,397,554	2,612,092,912	5.8	6.5	90.8
	市 債	3,255,586,000	3,277,356,000	8.0	8.2	99.3
	小 計	19,225,927,888	19,300,264,150	47.1	48.4	99.6
合 計		40,802,752,029	39,880,699,472	100.0	100.0	102.3

(単位:円)

予算に対する 収入割合%		調定額に対する 収入割合%		(欠損処分額) 収 入 未 済 額	
23	22	23	22	23	22
				( 202,421,841 )	( 157,413,041 )
100.8	103.0	94.0	93.4	783,158,263	939,574,495
				( 3,764,808 )	( 4,703,790 )
94.0	96.1	92.8	91.8	31,590,530	35,802,105
				( 0 )	( 0 )
114.8	102.3	98.7	98.4	6,265,973	7,562,082
119.7	96.4	100.0	100.0	0	0
106.3	103.3	100.0	100.0	0	0
101.5	92.6	100.0	100.0	0	0
99.5	108.4	100.0	100.0	0	0
				( 0 )	( 0 )
107.4	95.6	97.1	97.3	51,137,570	33,302,350
				( 206,186,649 )	( 162,116,831 )
101.4	102.7	95.2	94.6	872,152,336	1,016,241,032
104.2	95.7	100.0	100.0	0	0
99.1	112.6	100.0	100.0	0	0
127.6	172.3	100.0	100.0	0	0
70.2	251.4	100.0	100.0	0	0
103.4	103.6	100.0	100.0	0	0
59.5	102.1	100.0	100.0	0	0
100.0	100.0	100.0	100.0	0	0
108.0	105.5	100.0	100.0	0	0
92.6	94.5	100.0	100.0	0	0
95.3	94.7	100.0	100.0	0	0
91.5	100.1	100.0	100.0	0	0
97.4	99.0	100.0	100.0	0	0
100.0	100.7	100.0	100.0	0	0
				( 206,186,649 )	( 162,116,831 )
100.7	101.7	97.4	97.1	872,152,336	1,016,241,032

主たる歳入である、市税及び地方交付税の状況は、次のとおりである。

市 税

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比 23/22
		平成23年度	平成22年度	
予 算	当 初 予 算 額	15,291,640,000	15,102,738,000	101.3%
	補 正 予 算 額	0		
	予 算 現 額	15,291,640,000	15,102,738,000	101.3
調 定 額		16,400,432,922	16,659,690,960	98.4
収 入 済 額		15,414,852,818	15,562,703,424	99.0
収 入 率	対 予 算 現 額	100.8%	103.0%	-
	対 調 定 額	94.0%	93.4%	-
不 納 欠 損 額		202,421,841	157,413,041	128.6
収 入 未 済 額		783,158,263	939,574,495	83.4

歳入全体収入済額の37.8%（前年度39.0%）を占める市税収入は、15,414,852,818円で、予算現額に対する収入率は100.8%、調定額に対する収入率は94.0%であり、収入済額は前年度に比し147,850,606円（1.0%）の減少である。

市税の内訳・収入未済額等は「表3（P14、15）」のとおりである。

市民税課税状況（現年度）

(単位 千円)

所 得 区 分	年 度	納 税 者 義 務 者	比 率 23/22 ×100	総 所 得 額 金	比 率 23/22 ×100	課 税 額	比 率 23/22 ×100	税 額 構 成 比
	22	49,374人	98.8	133,562,371	99.1	4,845,268	97.1	87.5%
営 業	23	2,488		6,168,688		217,286		4.0
	22	2,621	94.9	6,300,442	97.9	228,689	95.0	4.1
農 業	23	265		-715,777		14,971		0.3
	22	398	66.6	127,715	-560.4	18,968	78.9	0.3
そ の 他	23	8,227		15,638,094		449,331		8.3
	22	7,963	103.3	15,013,364	104.2	444,437	101.1	8.0
計	23	59,746		153,400,437		5,386,116		100.0
	22	60,356	99.0	155,003,892	99.0	5,537,362	97.3	100.0

## 地方交付税

予算現額 6,794,693 千円に対し収入済額は 7,338,782 千円で 544,089 千円 (8.0%) の増加である。

普通交付税の収入済額は 6,383,693 千円で前年度に比し 182,895 千円 (2.9%) の増加、特別交付税の収入済額は 955,089 千円で前年度に比し 94,441 千円 (11.0%) の増加である。

### 地方交付税の推移

(単位 千円)

区 分		年 度		増 減
		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	
普通 交付 税	① 基準財政需要額	19,431,366	18,766,292	665,074
	② 基準財政収入額	13,047,827	12,700,946	346,881
	③ (① - ②)	6,383,539	6,065,346	318,193
	④ ① × 調整率	0	15,378	△15,378
	⑤ 追加交付額	154	150,830	△150,676
	③ - ④ + ⑤	6,383,693	6,200,798	182,895
特 別 交 付 税		955,089	860,648	94,441
合 計		7,338,782	7,061,446	277,336



表 3 平成23年度市税比較表

区 分		予 算 現 額	収 入 済 額		不納欠損額	
			当 年 度	対 前 年 度 増・減	当 年 度	
市民税	個人	現年分	5,277,722,000	5,263,294,077	△ 137,966,847	45,410
		滞納分	75,530,000	101,099,161	9,401,606	86,893,673
	法人	現年分	1,055,524,000	929,408,500	△ 144,953,334	0
		滞納分	2,285,000	1,783,884	△ 2,132,216	3,752,880
	小 計	6,411,061,000	6,295,585,622	△ 275,650,791	90,691,963	
固定資産税		現年分	7,240,745,000	7,295,017,123	31,571,448	5,525
		滞納分	99,180,000	103,851,912	△ 15,777,914	100,077,245
	国交納	現年分	83,562,000	83,652,000	△ 1,436,600	0
	小 計	7,423,487,000	7,482,521,035	14,356,934	100,082,770	
軽自動車税		現年分	196,657,000	205,472,422	6,588,222	0
		滞納分	2,146,000	3,000,500	△ 162,600	3,037,728
	小 計	198,803,000	208,472,922	6,425,622	3,037,728	
市町村たばこ税	現年分	618,230,000	791,803,298	119,810,802	0	
都市計画税		現年分	631,584,000	627,536,330	△ 11,206,611	475
		滞納分	8,475,000	8,933,611	△ 1,586,562	8,608,905
	小 計	640,059,000	636,469,941	△ 12,793,173	8,609,380	
合 計		15,291,640,000	15,414,852,818	△ 147,850,606	202,421,841	

(単位：円)

不納欠損額	収 入 未 済 額		収 入 済 額			
	当 年 度	対 前 年 度 増・減	構 成 比 %		増減率%	予 算
			23	22	23	対比%
45,410	122,776,891	△ 13,324,234	34.2	34.7	△ 2.6	99.7
8,245,676	231,915,383	△ 52,524,458	0.7	0.6	10.3	133.9
0	4,475,300	△ 471,866	6.0	6.9	△ 13.5	88.1
2,837,280	3,553,900	△ 589,598	0.0	0.0	△ 54.4	78.1
11,128,366	362,721,474	△ 66,910,156	40.9	42.2	△ 4.2	98.2
5,525	122,904,852	△ 26,512,373	47.3	46.7	0.4	100.7
32,815,639	256,743,299	△ 53,700,755	0.7	0.8	△ 13.2	104.7
0	0	0	0.5	0.5	△ 1.7	100.1
32,821,164	379,648,151	△ 80,213,128	48.5	48.0	0.2	100.8
0	4,604,478	△ 255,822	1.3	1.3	3.3	104.5
△ 1,635,166	3,525,839	△ 1,255,528	0.0	0.0	△ 5.1	139.8
△ 1,635,166	8,130,317	△ 1,511,350	1.4	1.3	3.2	104.9
0	0	0	5.1	4.3	17.8	128.1
475	10,572,595	△ 2,567,064	4.1	4.1	△ 1.8	99.4
2,693,961	22,085,726	△ 5,214,534	0.1	0.1	△ 15.1	105.4
2,694,436	32,658,321	△ 7,781,598	4.1	4.2	△ 2.0	99.4
45,008,800	783,158,263	△ 156,416,232	100.0	100.0	△ 1.0	100.8

イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	36,630,000,000	36,070,000,000	101.6%
	補正予算等 (B)	3,891,117,738	3,147,847,029	123.6
	増減率 (B/A)	10.6%	8.7%	-
	予 算 現 額	40,521,117,738	39,217,847,029	103.3
支 出 済 額		38,217,194,270	37,074,036,883	103.1
差 引 残 額		2,303,923,468	2,143,810,146	107.5
翌 年 度 繰 越 額		492,295,560	594,055,738	82.9
不 用 額		1,811,627,908	1,549,754,408	116.9
執 行 率		94.3%	94.5%	-

支出済額は38,217,194,270円で予算現額40,521,117,738円に対して94.3%の執行率であり、前年度を0.2ポイント下回った。

前年度と比較して、予算現額、支出済額ともに増加している。

また、予算現額から支出済額を差し引いた残額は2,303,923,468円となるが、492,295,560円が翌年度に繰り越されているため、不用額は1,811,627,908円である。このうち予備費に係る不用額は9,060,101円（前年度6,243,234円）である。

「表4 (P18)」の一般会計歳出決算（目的別）比較表をみると、前年度比率では衛生費、消防費、教育費等で増加し、全体では3.1%の増加となった。

また、「表5 (P19)」の一般会計歳出決算（性質別）比較表をみると、前年度比率では扶助費、積立金、普通建設事業、災害復旧事業費等が増加し、公債費、貸付金等が減少した。

なお、各款における主な不用額の理由は「表6 (P20~23)」のとおりである。

表 4 平成23年度一般会計歳出決算(目的別)比較表

(単位:

円)

区 分	平 成 2 3 年 度					平 成 2 2 年 度			
	支出済額	構成比	執行率	対前年増減率	不用額	支出済額	構成比	執行率	不用額
1 議会費	436,640,263	1.1	97.7	18.4	10,101,737	368,662,628	1.0	99.4	2,343,960
2 総務費	6,758,460,646	17.7	96.0	△ 2.1	237,689,263	6,904,502,858	18.6	95.4	279,596,693
3 民生費	12,010,770,709	31.4	96.1	2.6	430,077,409	11,703,111,749	31.6	97.6	255,186,946
4 衛生費	3,009,797,489	7.9	92.5	16.5	227,391,571	2,583,475,640	7.0	93.6	173,176,492
5 労働費	191,717,759	0.5	97.6	△ 4.6	4,769,241	200,866,754	0.5	97.8	3,656,246
6 農林水産業費	1,344,739,113	3.5	93.7	△ 7.6	84,985,387	1,454,659,414	3.9	89.9	122,589,848
7 商工費	511,243,934	1.4	94.9	7.5	18,611,066	475,373,376	1.8	96.9	15,075,124
8 土木費	3,516,204,143	9.2	87.7	6.2	272,938,197	3,310,657,218	8.9	84.7	266,879,762
9 消防費	1,500,498,719	3.9	91.7	10.1	123,829,475	1,363,263,758	3.7	93.3	68,839,706
10 教育費	4,863,860,844	12.7	91.7	19.7	306,782,112	4,062,173,073	13.1	90.5	319,874,466
11 公債費	4,073,158,651	10.7	97.9	△12.4	85,392,349	4,647,188,415	12.5	99.9	36,291,931
12 諸支出金	102,000	0.0	100.0	0.0	0	102,000	0.0	100.0	0
13 予備費	0	-	-	-	9,060,101	0	-	-	6,243,234
合 計	38,217,194,270	100.0	94.3	3.1	1,811,627,908	37,074,036,883	100.0	94.5	1,549,754,408



表 5 平成23年度一般会計歳出決算(性質別)比較表

(単位:千円)

区 分	決 算 額		構 成 比 %		前年度比 %
	23	22	23	22	23/22
人件費	7,493,450	7,438,113	19.6	20.1	100.7
(うち職員給)	( 5,094,074 )	( 5,103,705 )	( 13.3 )	( 13.8 )	( 99.8 )
物件費	5,547,447	5,348,160	14.5	14.4	103.7
維持補修費	538,329	468,423	1.4	1.3	114.9
扶助費	7,496,167	6,928,511	19.6	18.7	108.2
補助費等	2,629,517	2,478,521	6.9	6.7	106.1
公債費	4,073,159	4,640,799	10.7	12.5	87.8
積立金	2,485,057	2,285,703	6.5	6.2	108.7
投資及び出資金	0	0	0.0	0.0	-
貸付金	432,420	440,400	1.1	1.2	98.2
繰出金	3,521,297	3,468,400	9.2	9.3	101.5
普通建設事業費	3,855,446	3,575,594	10.1	9.6	107.8
災害復旧事業費	144,905	1,412	0.4	0.0	10,262.4
合計	38,217,194	37,074,036	100.0	100.0	103.1

表 6 平成23年度一般会計歳出決算の主な不用額調(5,000千円以上)

款	項	目	節	予算現額	支出済額		
総務費	総務管理費	一般管理費	3	職員手当等	449,122	440,392	
			7	賃金	8,434	0	
			文書広報費	12	役務費	44,420	31,810
			財産管理費	11	需用費	36,237	28,118
			自治振興費	19	負担金補助及び交付金	129,935	123,838
			電算管理費	14	使用料及び賃借料	97,787	85,886
		徴税費	賦課徴収費	23	償還金利子及び割引料	62,000	54,555
	13			委託料	44,461	34,510	
		選挙費	県議会議員選挙費	3	職員手当等	16,223	8,972
				19	負担金補助及び交付金	48,989	28,381
民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	20	扶助費	13,340	7,365	
			20	扶助費	80,837	73,548	
			障害者福祉費	20	扶助費	248,867	227,668
				13	委託料	9,740	2,940
				20	扶助費	1,024,834	1,015,426
			老人福祉費	20	扶助費	91,576	80,993
				19	負担金補助及び交付金	734,308	701,141
				13	委託料	71,011	56,592
			28	繰出金	197,168	191,975	
			児童福祉費	児童福祉総務費	7	賃金	86,383
		13			委託料	89,733	77,121
		20		扶助費	379,024	361,468	
		20		扶助費	22,359	14,787	
		20		扶助費	2,102,083	2,091,688	
		児童措置費		13	委託料	1,239,629	1,140,729
			13	委託料	55,692	45,990	
		生活保護費	生活保護総務費	7	賃金	29,613	24,162
				20	扶助費	17,172	6,079
			扶助費	20	扶助費	1,380,017	1,354,742
	衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費	13	委託料	83,008	68,994
19				負担金補助及び交付金	450,000	363,296	
19				負担金補助及び交付金	64,506	57,828	
			予防費	13	委託料	100,412	89,135
				13	委託料	315,659	292,611
		清掃費	清掃総務費	13	委託料	142,411	134,611
				じん芥処理費	11	需用費	123,988
				13	委託料	280,239	268,786

(単位:千円)

執行率	不用額	主なる理由
98.1%	8,730	時間外勤務手当の支出が少なかったため
0.0%	8,434	臨時雇用が少なかったため
71.6%	12,610	郵便物の予定量が使用量を下回ったため
77.6%	8,119	予定使用量が下回ったため
95.3%	6,097	補助金申請が予定より少なかったため
87.8%	11,901	入札による執行残のため
88.0%	7,445	還付対象が少なかったため
77.6%	9,951	入札による執行残のため
55.3%	7,251	時間外勤務手当の支出が少なかったため
57.9%	20,608	選挙公営経費の支出が見込みより少なかったため
55.2%	5,975	扶助費の支出が当初見込額より少なかったため
91.0%	7,289	在宅重度心身障害者手当の支出が当初見込額より少なかったため
91.5%	21,199	重度心身障害者医療費の支出が当初見込額より少なかったため
30.2%	6,800	当初の見込より改修費がかからなかったため
99.1%	9,408	利用見込が困難なため
88.4%	10,583	更生医療の支出が当初見込額より少なかったため
95.5%	33,167	市町村負担金及び医療給付費負担が少なかったため
79.7%	14,419	老人ホーム入所委託料が見込みより少なかったため
97.4%	5,193	保養施設利用助成事業に補助金があったため。健康診査受診者数が少なかったため
92.4%	6,544	放課後児童指導員(臨時職員)を募集したが、応募が少なかったため
85.9%	12,612	障害児を受け入れたクラブが予想より少なかったため
95.4%	17,556	申請件数が少なかったため
66.1%	7,572	申請件数が少なかったため
99.5%	10,395	制度改正による申請が見込みより少なかったため
92.0%	98,900	民間保育所への入所児童数が見込みより少なかったため
82.6%	9,702	夜間保育所への入所児童数が見込みより少なかったため
81.6%	5,451	臨時職員(保育士)の登録者が少なかったため、予定より障害児加配保育士を採用できなかったため
35.4%	11,093	住宅手当の支出が、当初見込額より少なかったため
98.2%	25,275	扶助費の支出が当初見込額より少なかったため
83.1%	14,014	妊婦一般健康診査受診者数が見込みより少なかったため
80.7%	86,704	地域医療再生計画(ネットワーク)事業における実績に基づく補助金交付額の減少のため
89.6%	6,678	埼玉県東部北地区病院群輪番制事業における実施日数変更に伴う補助金交付額の減少のため
88.8%	11,277	健康診査事業において、受診者数が見込みより少なかったため
92.7%	23,048	予防接種事業において、被接種者数が見込みより少なかったため
94.5%	7,800	入札による執行残のため
95.1%	6,031	契約による執行残のため
95.9%	11,453	入札による執行残のため



款	項	目	節	予算現額	支出済額	
農林水産業費	農 業 費	農 地 費	19	負担金補助及び交付金	21,014	7,794
			19	負担金補助及び交付金	20,000	9,148
			15	工 事 請 負 費	42,100	33,029
土 木 費	道路橋りょう費	道路橋りょう総務費	13	委 託 料	26,795	13,343
		道 路 維 持 費	15	工 事 請 負 費	24,450	16,019
		道路新設改良費	13	委 託 料	45,580	26,878
			17	公 有 財 産 購 入 費	21,793	4,458
			15	工 事 請 負 費	93,155	81,897
			15	工 事 請 負 費	111,100	58,585
			17	公 有 財 産 購 入 費	13,000	7,321
			22	補償補填及び賠償金	6,000	568
			15	工 事 請 負 費	8,300	0
			都市計画費	都市計画総務費	13	委 託 料
	公 園 費	13	委 託 料	59,733	54,719	
		15	工 事 請 負 費	45,736	38,547	
		15	工 事 請 負 費	9,893	3,906	
		土地区画整理費	28	繰 出 金	82,677	76,057
消 防 費	消 防 費	非常備消防費	8	報 償 費	22,550	7,586
		消 防 施 設 費	18	備 品 購 入 費	72,600	64,754
			13	委 託 料	91,434	39,479
教 育 費	小学校費	教育振興費	20	扶 助 費	37,993	31,959
	中学校費	教育振興費	20	扶 助 費	42,913	34,739
	保健体育費	学 校 給 食 費	13	委 託 料	29,781	24,231
			15	工 事 請 負 費	135,000	90,195
			18	備 品 購 入 費	312,600	305,498
			18	備 品 購 入 費	67,020	59,834
	小学校費	学 校 管 理 費	11	需 用 費	65,800	55,619
			15	工 事 請 負 費	96,164	38,231
	中学校費	学 校 管 理 費	11	需 用 費	41,179	32,337
幼稚園費	幼 稚 園 費	15	工 事 請 負 費	14,179	2,100	
公 債 費	公 債 費	元 金	23	償還金利子及び割引料	3,566,107	3,528,543
		利 子	23	償還金利子及び割引料	592,444	544,617

(単位:千円)

執行率	不用額	主なる理由
37.1%	13,220	県の事業見直し縮小による事業費削減による負担金の減少のため
45.7%	10,852	負担金事業の執行額確定のため
78.5%	9,071	入札による執行残のため
49.8%	13,452	境界確認及び調査・測量・登記・設計・監理が予定案件数より少なかったため
65.5%	8,431	入札による執行残のため(繰越明許分)
59.0%	18,702	入札等による執行残のため
20.5%	17,335	土地購入価格が予定より安かったため
87.9%	11,258	入札による執行残のため(繰越明許分)
52.7%	52,515	消防予定地の残土運搬の費用がかからなくなったため
56.3%	5,679	土地購入価格が予定より安かったため
9.5%	5,432	当初見込みより少なかったため
0.0%	8,300	地権者の同意が得られなかったため
84.4%	10,185	落札価格が安かったため
91.6%	5,014	落札価格が安かったため
84.3%	7,189	入札による執行残のため
39.5%	5,987	落札価格が安かったため
92.0%	6,620	特別会計の財産収入等が当初見込額より多かったため
33.6%	14,964	当初見込みより退職者が少なかったため
89.2%	7,846	入札による執行残のため
43.2%	51,955	入札による執行残のため
84.1%	6,034	就学援助費の支出が当初見込額より少なかったため。
81.0%	8,174	就学援助費の支出が当初見込額より少なかったため。
81.4%	5,550	入札による執行残のため
66.8%	44,805	落札価格が安かったため
97.7%	7,102	入札により、見積額より落札額が少なくなったため
89.3%	7,186	入札により、見積額より落札額が少なくなったため
84.5%	10,181	節電・節水に努めたため
39.8%	57,933	入札等による執行残のため
78.5%	8,842	節電・節水に努めたため
14.8%	12,079	入札等による執行残のため
98.9%	37,564	教育債(北川辺東小学校校舎改築事業)の起債前借分を二重計上してしまったため(36,000千円)
91.9%	47,827	平成22借入債について予算要求時の利率を下回ったなどのため (例 臨時財政対策債) 予算時 利率 2.5% 72,193,015円→実際 1.2% 31,604,238円 など

### (3) 加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 7,472,351 円 (予算現額に対して 285.5%)

歳出 2,614,723 円 ( " 99.9%)

で、差引残額が 4,857,628 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 3,930,731 円であったため 926,897 円の黒字である。

#### ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	2,617,000	3,012,000	86.9%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	2,617,000	3,012,000	86.9
調 定 額		71,208,062	70,792,463	100.6
収 入 済 額		7,472,351	6,811,789	109.7
収 入 率	対 予 算 現 額	285.5%	226.2%	-
	対 調 定 額	10.5%	9.6%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		63,735,711	63,980,674	99.6

本年度の収入済額は 7,472,351 円で、予算現額 2,617,000 円に対して 285.5%の収入率となり、前年度 (226.2%) に比して 59.3 ポイント上回った。また、調定額 71,208,062 円に対して 10.5%の収入率で、前年度 (9.6%) に比して 0.9 ポイント上回った。

なお、収入未済額は 63,735,711 円で、前年度に比し 244,963 円 (0.4%) の減少である。

#### イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	2,617,000	3,012,000	86.9%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	2,617,000	3,012,000	86.9
支 出 済 額		2,614,723	2,881,058	90.8
差 引 残 額		2,277	130,942	1.7
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		2,277	130,942	1.7
執 行 率		99.9%	95.7%	-

支出済額は2,614,723円で、予算現額2,617,000円に対し99.9%の執行率である。

支出済額は前年度に比し266,335円(9.2%)の減少である。

不用額は2,277円で、前年度に比し128,665円(98.3%)の減少である。

#### (4) 加須市国民健康保険事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 12,330,130,661円 (予算現額に対して 103.0%)

歳出 11,638,781,666円 ( " 97.2%)

で差引残額が 691,348,995円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 518,296,091円であったため 173,052,904円の黒字である。

なお、実質収支額のうち、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額は100千円である。

#### ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	11,666,020,000	11,456,900,000	101.8%
	補正予算等 (B)	308,415,000	196,563,000	156.9
	増減率 (B/A)	2.6%	1.7%	-
	予算現額	11,974,435,000	11,653,463,000	102.8
調 定 額		13,348,311,033	12,725,954,052	104.9
収 入 済 額		12,330,130,661	11,569,903,587	106.6
収 入 率	対 予 算 現 額	103.0%	99.3%	-
	対 調 定 額	92.4%	90.9%	-
不 納 欠 損 額		204,857,490	207,393,355	98.8
収 入 未 済 額		813,322,882	948,657,110	85.7

本年度の収入済額は12,330,130,661円で、予算現額11,974,435,000円に対して103.0%

の収入率となり、前年度（99.3％）に比して 3.7 ポイント上回った。 また、調定額 13,348,311,033 円に対して 92.4％の収入率で、前年度（90.9％）に比して 1.5 ポイント上回った。

なお、収入未済額 813,322,882 円で、前年度に比し 135,334,228 円（14.3％）の減少である。

主たる歳入である国民健康保険税の状況は、次のページのとおりである。

国民健康保険税

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比
		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	2,613,254,000	2,873,076,000	91.0%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	2,613,254,000	2,873,076,000	91.0
	調 定 額	3,744,611,910	3,834,146,953	97.7
	収 入 済 額	2,726,431,538	2,678,096,488	101.8
収 入 率	対 予 算 現 額	104.3%	93.2%	-
	対 調 定 額	72.8%	69.8%	-
	不 納 欠 損 額	204,857,490	207,393,355	98.8
	収 入 未 済 額	813,322,882	948,657,110	85.7

歳入総額の 22.1% (前年度は 23.1%) を占める国民健康保険税収入は 2,726,431,538 円で、調定額に対する収入率は 72.8% となり、前年度に比し 48,335,050 円(1.8%) の増加である。

なお、収入未済額の内訳は、現年度課税分において 262,795,495 円、滞納繰越分において 550,527,387 円の収入未済となったが、前年度の未済額に比し、現年度分は 38,597,286 円、滞納繰越分は 96,736,942 円それぞれ減少である。

## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	11,666,020,000	11,456,900,000	101.8%
	補正予算等 (B)	308,415,000	196,563,000	156.9
	増減率 (B/A)	2.6%	1.7%	-
	予 算 現 額	11,974,435,000	11,653,463,000	102.8
支 出 済 額		11,638,781,666	11,051,607,496	105.3
差 引 残 額		335,653,334	601,855,504	55.8
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		335,653,334	601,855,504	55.8
執 行 率		97.2%	94.8%	-

支出済額は11,638,781,666円で、予算現額11,974,435,000円に対し97.2%の執行率である。

支出済額は前年度に比し587,174,170円(5.3%)の増加である。

不用額は335,653,334円で、前年度に比し266,202,170円(44.2%)の減少である。



(5) 加須市国民健康保険直営診療所特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 140,539,620 円 (予算現額に対して 122.0%)

歳出 107,974,761 円 (予算現額に対して 93.7%)

で、差引残額が 32,564,859 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 24,529,779 円であったため、8,035,080 円の黒字である。

ア 歳入

歳入決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	112,800,000	102,500,000	110.0%
	補正予算等 (B)	2,416,000	5,546,000	43.6
	増減率 (B/A)	2.1%	5.4%	-
	予 算 現 額	115,216,000	108,046,000	106.6
調 定 額		140,539,620	124,983,845	112.4
収 入 済 額		140,539,620	124,983,845	112.4
収 入 率	対 予 算 現 額	122.0%	115.7%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

収入済額は 140,539,620 円で、予算現額 115,216,000 円に対して 122.0%の収入率である。

また、調定額 140,539,620 円に対して 100.0%の収入率である。

## イ 歳出

歳出決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	112,800,000	102,500,000	110.0%
	補正予算等 (B)	2,416,000	5,546,000	43.6
	増減率 (B/A)	2.1%	5.4%	-
	予 算 現 額	115,216,000	108,046,000	106.6
支 出 済 額		107,974,761	100,454,066	107.5
差 引 残 額		7,241,239	7,591,934	95.4
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		7,241,239	7,591,934	95.4
執 行 率		93.7%	93.0%	-

支出済額は107,974,761円で、予算現額115,216,000円に対し93.7%の執行率である。

支出済額は前年度に比し7,520,695円(7.5%)の増加である。

不用額は7,241,239円で、前年度比べ350,695円(4.6%)の減少である。

(6) 加須市後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 803,297,311円 (予算現額に対して 99.2%)

歳出 787,279,723円 ( " 97.3%)

で、差引残額が 16,017,588 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 19,998,290 円であったため、3,980,702 円の赤字である。

ア 歳入

決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比
		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	23/22
予 算	当初予算額 (A)	789,575,000	833,700,000	94.7%
	補正予算等 (B)	19,819,000	11,981,000	165.4
	増減率 (B/A)	2.5%	1.4%	-
	予 算 現 額	809,394,000	845,681,000	95.7
調 定 額		807,562,811	778,058,612	103.8
収 入 済 額		803,279,311	772,364,922	104.0
収 入 率	対 予 算 現 額	99.2%	91.3%	-
	対 調 定 額	99.5%	99.3%	-
不 納 欠 損 額		794,420	1,250,250	63.5
収 入 未 済 額		3,471,080	4,443,440	78.1

本年度の収入済額は 803,297,311 円で、予算現額 809,394,000 円に対して 99.2%の収入率となった。また、調定額 807,562,811 円に対して 99.5%の収入率で、前年度 (99.3%) に比べ 0.2 ポイント上回った。

なお、収入未済額は 3,471,080 円で、前年度に比し 972,360 円 (21.9%) の減少である。

## イ 歳出

決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	789,575,000	833,700,000	94.7%
	補正予算等 (B)	19,819,000	11,981,000	165.4
	増減率 (B/A)	2.5%	1.4%	-
	予 算 現 額	809,394,000	845,681,000	95.7
支 出 済 額		787,279,723	752,366,632	104.6
差 引 残 額		22,114,277	93,314,368	23.7
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		22,114,277	93,314,368	23.7
執 行 率		97.3%	89.0%	-

支出済額は787,279,723円で、予算現額809,394,000円に対し97.3%の執行率である。

支出済額は前年度に比し34,913,091円(4.6%)の増加である。

不用額は22,114,277円で、前年度に比して71,200,091円(76.3%)の減少である。

(7) 加須市介護保険事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 5,664,393,758 円 (予算現額に対して 100.5%)

歳出 5,430,286,731 円 ( " 96.4%)

で、差引残額が 234,107,027 円である。翌年度へ繰り越すべき財源 12,831,000 を差し引いた 221,276,027 円が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 247,223,867 円であったので 25,947,840 円の赤字である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	5,513,102,000	5,156,369,000	106.9%
	補正予算等 (B)	120,451,000	137,801,000	87.4
	増減率 (B/A)	2.2%	2.7%	-
	予 算 現 額	5,633,553,000	5,294,170,000	106.4
調 定 額		5,701,127,948	5,407,522,130	105.4
収 入 済 額		5,664,393,758	5,380,847,040	105.3
収 入 率	対 予 算 現 額	100.5%	101.6%	-
	対 調 定 額	99.4%	99.5%	-
不 納 欠 損 額		11,168,000	9,193,231	121.5
収 入 未 済 額		25,566,190	17,481,859	146.2

本年度の収入済額は 5,664,393,758 円で、予算現額 5,633,553,000 円に対して 100.5% の収入率となり、前年度 (101.6%) に比して 1.1 ポイント下回った。また、調定額 5,701,127,948 円に対して 99.4% の収入率で、前年度 (99.5%) に比して 0.1 ポイント下回った。

なお、収入未済額は 25,566,190 円で、前年度に比し 8,084,331 円 (46.2%) の増加である。

## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	5,513,102,000	5,156,369,000	106.9%
	補正予算等 (B)	120,451,000	137,801,000	87.4
	増減率 (B/A)	2.2%	2.7%	-
	予 算 現 額	5,633,553,000	5,294,170,000	106.4
支 出 済 額		5,430,286,731	5,133,623,173	105.8
差 引 残 額		203,266,269	160,546,827	126.6
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		187,516,269	160,546,827	116.8
執 行 率		96.4%	97.0%	-

支出済額は5,430,286,731円で、予算現額5,633,553,000円に対し96.4%の執行率である。

支出済額は前年度に比し296,663,558円(5.8%)の増加である。

不用額は187,516,269円で、前年度に比べ26,969,442円(16.8%)の増加である。

(8) 加須市農業集落排水事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入	747,970,054 円	(予算現額に対して 112.5%)
歳出	604,250,126 円	( " 90.9%)

で、差引残額が 143,719,928 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額 122,582,030 円であったため、21,137,898 円の黒字である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 23 年度	平成 22 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	664,638,000	649,422,000	102.3%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予算現額	664,638,000	649,422,000	102.3
調 定 額		752,766,860	735,626,867	102.3
収 入 済 額		747,970,054	731,310,332	102.3
収 入 率	対 予 算 現 額	112.5%	112.6%	-
	対 調 定 額	99.4%	99.4%	-
不 納 欠 損 額		54,276	189,967	28.6
収 入 未 済 額		4,742,530	4,126,568	114.9

本年度の収入済額は 747,970,054 円で、予算現額 664,638,000 円に対して 112.5%の収入率となり、前年度 (112.6%) に比して 0.1 ポイント下回った。また、調定額 752,766,860 円に対して 99.4%の収入率で、前年度と同じであった。

不納欠損額は、54,276 円で、前年度に比し 135,691 円 (71.4%) の減少、収入未済額は 4,742,530 円で、前年度に比し 615,962 円 (14.9%) の増加である。

イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	年 度	平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	664,638,000	649,422,000	102.3%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	664,638,000	649,422,000	102.3
支 出 済 額	604,250,126	608,728,302	99.3	
差 引 残 額	60,387,874	40,693,698	148.4	
翌 年 度 繰 越 額	0	0	-	
不 用 額	60,387,874	40,693,698	148.4	
執 行 率	90.9%	93.7%	-	

支出済額は604,250,126円で、予算現額664,638,000円に対し90.9%の執行率である。

支出済額は前年度に比し4,478,176円(0.7%)の減少である。

不用額は60,387,874円で、前年度に比し19,694,176円(48.4%)の増加である。



(9) 加須都市計画事業不動岡土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 37,357,777 円 (予算現額に対して 84.7%)

歳出 29,767,352 円 ( " 67.5%)

で、差引残額が 7,590,425 円である。なお、翌年度へ繰り越すべき財源はなかったので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 6,430,172 円であったので、1,160,253 円の黒字である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	44,084,000	88,102,000	50.1%
	補正予算等 (B)	0	△27,539,000	-
	増減率 (B/A)	0%	△31.3%	-
	予 算 現 額	44,084,000	60,563,000	72.8
調 定 額		37,357,777	61,532,715	60.7
収 入 済 額		37,357,777	61,532,715	60.7
収 入 率	対 予 算 現 額	84.7%	101.6%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

本年度の収入済額は 37,357,777 円で、予算現額 44,084,000 円に対して 84.7%の収入率となり、前年度 (101.6%) に比して 16.9 ポイント下回った。また、調定額 37,357,777 円に対して 100.0%の収入率で、前年度と同じであった。

イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	44,084,000	88,102,000	50.0%
	補正予算等 (B)	0	△27,539,000	-
	増減率 (B/A)	0%	△31.3%	-
	予 算 現 額	44,084,000	60,563,000	72.8
支 出 済 額		29,767,352	55,102,543	54.0
差 引 残 額		14,316,648	5,460,457	262.2
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		14,316,648	5,460,457	262.2
執 行 率		67.5%	91.0%	-

支出済額は29,767,352円で、予算現額44,084,000円に対し67.5%の執行率である。

支出済額は前年度に比し25,335,191円(46.0%)の減少である。

不用額は14,316,648円で、前年度に比し8,856,191円(162.2%)の増加である。

(10) 加須都市計画事業三俣第二土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 105,981,627 円 (予算現額に対して 177.1%)

歳出 43,216,397 円 ( " 72.2%)

で、差引残額が 62,765,230 円である。翌年度へ繰り越すべき財源 4,138,485 円を差し引いた 58,626,745 円が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 85,840,404 円であったので 27,213,659 円の赤字である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	37,082,000	25,451,000	145.7%
	補正予算等 (B)	22,771,000	4,358,000	522.5
	増減率 (B/A)	61.4%	17.1%	-
	予算現額	59,853,000	29,809,000	200.8
調 定 額		105,981,627	93,092,111	113.8
収 入 済 額		105,981,627	93,092,111	113.8
収 入 率	対 予 算 現 額	177.1%	312.3%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

本年度の収入済額は 105,981,627 円で、予算現額 59,853,000 円に対して 177.1%の収入率となり、前年度(312.3%)に比して 135.2 ポイント下回った。また、調定額 105,981,627 円に対して 100.0%の収入率で、前年度と同じであった。

## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	37,082,000	25,451,000	145.7%
	補正予算等 (B)	22,771,000	4,358,000	552.5
	増減率 (B/A)	61.4%	17.1%	-
	予 算 現 額	59,853,000	29,809,000	200.8
支 出 済 額		43,216,397	7,251,707	595.9
差 引 残 額		16,636,603	22,557,293	73.8
翌 年 度 繰 越 額		4,138,485	0	-
不 用 額		12,498,118	22,557,293	55.4
執 行 率		72.2%	24.3%	-

支出済額は43,216,397円で、予算現額59,853,000円に対し72.2%の執行率である。

支出済額は前年度に比し35,964,690円(495.9%)の増加である。

不用額は12,498,118円で、前年度に比し10,059,175円(44.6%)の減少である。

(11) 幸手都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 145,818,379 円 (予算現額に対して 99.9%)

歳出 142,228,985 円 (予算現額に対して 97.5%)

で、差引残額が 3,589,394 円であり、翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 4,109,842 円であったため 520,448 円の赤字である。

ア 歳入

歳入決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	195,726,000	174,340,000	112.3%
	補正予算等 (B)	△49,830,000	△21,000,000	△237.3
	増減率 (B/A)	△25.5%	△12.0%	-
	予算現額	145,896,000	153,340,000	95.1
調 定 額		145,818,379	152,475,553	95.6
収 入 済 額		145,818,379	152,475,553	95.6
収 入 率	対 予 算 現 額	99.9%	99.4%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

収入済額は 145,818,379 円で、予算現額 145,896,000 円に対して 99.9%の収入率である。

また、調定額 145,818,379 円に対して 100.0%の収入率である。

## イ 歳出

歳出決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	195,726,000	174,340,000	112.3%
	補正予算等 (B)	△49,830,000	△21,000,000	△237.3
	増減率 (B/A)	0%	△12.0%	-
	予 算 現 額	145,896,000	153,340,000	95.1
支 出 済 額		142,228,985	148,365,711	95.9
差 引 残 額		3,667,015	4,974,289	73.7
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		3,667,015	4,974,289	73.7
執 行 率		97.5%	96.8%	-

支出済額は142,228,985円で、予算現額145,896,000円に対し97.5%の執行率である。

支出額は、前年度に比し6,136,726円(4.1%)の減少である。

不用額は3,667,015円で、前年度に比し1,307,274円(26.3%)の減少である。

(12) 幸手都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 88,198,806 円 （予算現額に対して 100.6%）

歳出 82,836,510 円 （予算現額に対して 94.5%）

で、差引残額が 5,362,296 円であり、翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 7,405,158 円であったため 2,042,862 円の赤字である。

ア 歳入

歳入決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	87,678,000	127,521,000	68.8%
	補正予算等 (B)	0	△30,678,000	-
	増減率 (B/A)	0%	△24.1%	-
	予 算 現 額	87,678,000	96,843,000	90.5
調 定 額		88,198,806	97,875,290	90.1
収 入 済 額		88,198,806	97,875,290	90.1
収 入 率	対 予 算 現 額	100.6%	101.1%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

収入済額は 88,198,806 円で、予算現額 87,678,000 円に対して 100.6%の収入率である。

また、調定額 88,198,806 円に対して 100.0%の収入率である。

## イ 歳出

歳出決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	年 度	平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	87,678,000	127,521,000	68.8%
	補正予算等 (B)	0	△30,678,000	-
	増減率 (B/A)	0%	△24.1%	-
	予 算 現 額	87,678,000	96,843,000	90.5
支 出 済 額		82,836,510	90,470,132	91.6
差 引 残 額		4,841,490	6,372,868	76.0
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		4,841,490	6,372,868	76.0
執 行 率		94.5%	93.4%	-

支出済額は82,836,510円で、予算現額87,678,000円に対し94.5%の執行率である。

支出額は前年度に比し7,633,622円(8.4%)の減少である。

不用額は4,841,490円で、前年度に比し1,531,378円(24.0%)の減少である。



(13) 河野博士育英事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 5,340,073 円 (予算現額に対して 97.8%)

歳出 5,174,898 円 (予算現額に対して 94.8%)

で、差引残額が 165,175 円であり、翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度実質収支額が 164,171 円であったため、1,004 円の黒字である。

ア 歳入

歳入決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	5,460,000	4,870,000	112.1%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	5,460,000	4,870,000	112.1
調 定 額		5,340,073	4,724,171	113.0
収 入 済 額		5,340,073	4,724,171	113.0
収 入 率	対 予 算 現 額	97.8%	97.0%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

収入済額は 5,340,073 円で、予算現額 5,460,000 円に対して 97.8%の収入率である。

また、調定額 5,340,073 円に対して 100.0%の収入率である。

## イ 歳出

歳出決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成23年度	平成22年度	前年度比
				23/22
予 算	当初予算額 (A)	5,460,000	4,870,000	112.1%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	5,460,000	4,870,000	112.1
支 出 済 額		5,174,898	4,560,000	113.5
差 引 残 額		285,102	310,000	92.0
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		285,102	310,000	92.0
執 行 率		94.8%	93.6%	-

支出済額は5,174,898円で、予算現額5,460,000円に対し94.8%の執行率である。

支出額は、前年度に比し614,898円(13.5%)の増加である。

不用額は285,102円で、前年度に比し24,898円(8.0%)の減少である。

**(14) 実質収支に関する調書**

実質収支に関する記載事項は、一般会計、特別会計とも適正に表示されているものと認められた。

**(15) 財産に関する調書**

公有財産、物品、債権、基金に分類し財産状態を表示しているが、一般会計、特別会計とも適正に管理されているものと認められた。

**(16) 基金の運用状況報告書**

基金については、正確に運用されているものと認められた。また用品調達基金は本年度をもって廃止された。